

● Lasciatemi morire (音節とアクセント)

黒字は奇数音節、赤字は偶数音節で表示してあります。単語の下の小さい・はアクセントのない音節を、大きい●はアクセントのある音節を表しています。下線部は複数の単語をまたいで音節がつながる所を表しています。

Lasciatemi **morire!** (7 音節)

・ ● ・ ・ ● ・

E **che** volete (5 音節)

・ ● ・ ● ・

che **mi** **conforte** (5 音節)

● ・ ● ・

in **così** **dura** **sorte**, (7 音節)

・ ・ ● ・ ・ ● ・

in **così** **gran** **martire?** (7 音節)

・ ・ ・ ● ・ ● ・

Lasciatemi **morire!** (7 音節)

・ ● ・ ・ ● ・

● Lasciatemi morire (脚韻と逐語訳)

脚韻は同じ種類の韻は色で分けてあります。単語の下には逐語訳が書いてあります。ただし、熟語になっていたりして、逐語訳だけでは理解不能の部分もありますから、次の文法の部分も参照して下さい。

Lasciatem i **morire!**

～させる私に 死 ぬ

E **che** volete

なのに 何を 望 む

c h e m i **conforte**

関係代名詞 私を 慰 める

i n c o s ì **dura** **sorte**,

中で このように 厳しい 運命

i n c o s ì **gran** **martire?**

中で このような 大きな 苦しみ

Lasciatem i **morire!**

～させる私に 死 ぬ

● **Lasciatemi morire** (文法)

**動詞は赤で、主語は青で表示してあります。動詞には法と時制と人称などの情報が書いてあります。**

※ <sup>1</sup>**Lasciatemi morire!**

lasciare の命令法 2 人称複数形

E **che volete**

volere の直説法 2 人称複数形

※ <sup>2</sup>**che mi** ※ <sup>3</sup>**conforte**

confortare の接続法現在 3 人称単数形 (?)

in così dura sorte,

in così gran ※ <sup>4</sup>martire?

※ 1 lasciare + 動詞の原形で lasciare は使役動詞として使われる。

※ 2 この 1 行が一番解釈が難しい。che は関係代名詞で前の行の che が先行詞と考えるか、この前に voi があり、それをが先行詞と考えるのか難しいが、意味的には che が先行詞とした方が自然だと思う。

※ 3 現代イタリア語では confortare には conforte という変化形はない。意味的には接続法現在 3 人称単数形で、脚韻をそろえるために conforti から conforte に変えたのだと思う。

※ 4 韻文での martire は martirio

● **Lasciatemi morire** (日本語訳)

**訳は1行ずつの意味がわかるように、なるべく複数の行にまたがらないようにしてあります。**

私を死なせて下さい。  
なのにあなた方は何を望むのですか？  
私を慰める (何を)  
このような厳しい運命の中で  
こんなに大きな苦しみの中で  
私を死なせて下さい。

※ 4 行目と 5 行目は 3 行目に倒置しています。

※モンテヴェルディは 18 のオペラを作りましたが、残っているのは現存する最古のオペラ「オルフェオ」と「ウリッセの帰郷」「ポッペアの戴冠」の 3 つだけです。これは失われた「アリアンナ」という 2 番目のオペラの中のアリアですが、彼のマドリガーレ集第 6 巻に 5 声のマドリガーレとして残っています。この曲はそこからアリアとして取り出したものです。アリアンナの話はリヒャルト・シュトラウスの「ナクソス島のアリアドネ」を参照して下さい。アリアドネとアリアンナは同一人物です。テーセウス、ミノタウロス、ディオニューソス (バッカス) とギリシア神話の面白いところを知ることができます。このアリアはテーセウスによりナクソス島に置き去りにされたアリアンナが嘆く場面で歌われます。